

目標定め大人の自覚を

城南中学校で立志式

新宮市

田中茂樹さんが講話
=26日、新宮市立城南中学校



新宮市立城南中学校(中田善夫校長、生徒171人)で26日、立志式が開かれた。14歳(数え年の15歳)を祝う「元服式」が元になった同校の伝統行事で、1、2年生106人が将来の目標を定め、自分の意思で人生を歩んでいくことを誓った。新型コロナウイルス感染症の影響で昨年の立志式を挙行できなかったため、本年度は1、2年生合同で実施した。

中田校長は「夢はどんどん変わってもいいが、やっておけば良かったと後悔することがないよう、何事にも挑戦してほしい」とあいさつ。

新宮信用金庫熊野支店の支店長代理で、卓球指導者としても活躍する田中茂樹さんが講話。小学5年生の時に卓球に出合っ

てのめり込み、目標に向かって努力することの大切さを学んだと話し、「たとえ目標が達成できなくても、努力した経験はみなさんの今後の人生において大きな財産となる」。仕事について「10回つらいことがあっても、一つの感動や喜びで成長したい、お客さまに感動を与えたいという目標に変わる」と語り掛けた。1年生を代表して竹中詩さんがアニメセラピストの夢を語り「母からの『個性を大切に』という言葉を忘れず、大人への道を歩んでいきたい」。2年生を代表して竹田風沙さんが何事にも感謝の心を持つ▽周りを見て行動する▽当たり前のことを当たり前に▽の三つを大切に大人になる準備をしていきたいと作文発表した。(石田幸子)



式に臨む生徒たち